

令和6年10月11日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長  
明石 欣也 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願い申し上げます。

記

1. 公募する職と人数

教授 1名

2. 所属

生命環境農学科 生命環境農学講座 植物分子生物学教育研究分野

3. 応募資格

(1) 以下のような植物分子生物学分野での研究と農業への応用に関する教育・研究に熱意を持って取り組める人材

① 植物と微生物との相互作用の分子レベルでの機構解明

② 植物における免疫応答と菌根共生の分子機構研究

③ 作物の病害抵抗性と成長の評価

(2) 鳥取大学農学部教員選考基準(資料1)を満たしていること

(3) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻(資料2)が担当できること

(4) 全学共通科目・一般教養科目(生物学)を担当できること

\*資料1、資料2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして確認してください。 (<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

4. 担当授業科目等

(1) 学 部：担当予定教育コース 農芸化学コース

基礎生命科学, 植物バイオテクノロジーⅠ・Ⅱ, 化学系基礎実験Ⅰ・Ⅱ(分担), 農芸化学実験Ⅰ・Ⅱ(分担), 基礎農芸化学演習Ⅰ・Ⅱ(分担), 生命環境農学演習Ⅰ・Ⅱ, 卒業研究

教育職員免許状関係授業科目(生物学実験演習)、全学共通科目・一般教養科目(生物学)等

- (2) 大学院：持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻  
植物分子生物学教育研究分野  
植物生理学特論，生命環境農学特論Ⅲ（生命環境科学）（分担），  
農学特別演習Ⅰ・Ⅱ等

5. 提出書類

- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| (1) 履歴書(記入要項参照)                   | 1 通   |
| (2) 調査書(記入要項参照)                   | 1 通   |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文および総説の別刷(複写も可)  | 各 1 部 |
| (4) 主要研究業績の概要(2,000 字程度)          | 1 部   |
| (5) 教育研究に対する抱負(1,200 字程度)         | 1 部   |
| (6) 大学内における管理運営に対する抱負 (1,000 字程度) | 1 部   |
| (7) 推薦者がある場合は推薦書                  | 1 通   |

\*記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードしてください。

(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

6. 応募締め切り

令和 6(2024)年 12 月 10 日(火) 必着

7. 選考方法

書類選考の後、最終候補者によるプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

8. 採用予定年月日

令和 7(2025)年 4 月 1 日

9. 書類送付先および問い合わせ先

〒680-8553

鳥取市湖山町南 4 丁目 101 番地

鳥取大学農学部生命環境農学科

植物分子生物学教育研究分野教員予備選考委員長 田村 純一

電話:0857-31-5108

E-mail: [jtamura@tottori-u.ac.jp](mailto:jtamura@tottori-u.ac.jp)

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。

## 10. その他

鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎いたします。また、鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・ 鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室  
URL: <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>
- ・ 鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター  
URL: <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/worklife-balance-suppot/>
- ・ 鳥取県の「子育て王国とっとり」  
URL: <https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. 生命環境農学科には、教育コースとして国際乾燥地農学、里地里山環境管理学、植物菌類生産科学、農芸化学の4つのコースがあります。農芸化学コースは次の教育目的と教育目標を掲げています。

### 【教育目的】

化学と生物学、微生物・植物・動物の基礎から応用までを幅広く学び、生物資源や食品、環境などに関連した様々な知識と技術を有した人材を養成します。

### 【教育目標】

- 1) 生化学・分析化学・食品科学・生物学に関わる「化学」と「生物学」両方の基礎的専門知識と技術を学んだ視野の広い人材を育成します。
- 2) 微生物、植物、食品などに関係した多岐にわたる基礎・応用実験を通じて、実践力と課題探求能力、研究開発能力を養成します。
- 3) 講義で学んだ知識と実験・演習で獲得した技術を統合して、新たな発見や問題解決へ向けた独創的な思考力を養います。

2. 本学部の教員は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科、山口大学大学院創成科学研究科のそれぞれの博士前期課程(修士課程)によって編成される鳥取大学大学院連合農学研究科において、博士課程の教育・研究指導も担当しています。

以上